

# KOCHI ROTARY CLUB

2021  
2022

SINCE 1937



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために  
2021-22年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3492回 2022年3月8日 2022年3月15日発行

### ● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。先週に寺田さんのお話の中で、1月に第一子がお生まれになったという紹介があり、2月に「夫妻と両親で決選投票をして、光希（こうき）という名前に決めたい」という寺田さんからのニコニコがありました。今年一番の心温まるニコニコだと思います。

私は以前、ロータリーの先輩のお名前を間違えて大失敗したことがあります。間違えたお相手は、よりにもよって関裕司（せき ひろし）パストガバナー。15、6年前、まだ新米だった私は、ある会で関さんの息子さんと一緒に、四国銀行の方から関さんの息子さんと紹介されました。私は「せき ゆうじさんの息子さんですか。ゆうじさんとはジムでも一緒に、ゆうじさんとはロータリーも一緒にさせていただいています」と。最初は「はあ」と聞いていた息子さんも、私あまり何度も「ゆうじ、ゆうじ」と言いますので、さすがに「私の父は、せき ひろしです」と言われ、バツが悪くて小さくなったことを思い出します。関さんに突っ込んでもらおうとわざと「ゆうじ」という以外は、ぜひ気をつけて「ひろしさん」と言っていたくようにお願いします。

会員のお名前、もう一方印象に残っているのが、卒業された日和崎二郎さんです。二郎さんには、もう30年近くお世話になっていますが、後になって弟の三郎さんがいらっしやることを知りました。二郎さん、三郎さんとなると、もしかしてと何うと「もちろん、兄貴は一郎だよ」と教えていただきました。何とすっきりと分かりやすいお名前のご兄弟だなと感じたことを思い出します。

というのは、私が中学校のとき、二郎というとても仲のいい同級生がいましたが、「二郎のお兄ちゃんは、もちろん一郎だろう」と聞くと、「お兄ちゃんは十郎だ」と言うんです。お父さんの名前が十二郎（ジュウジロウ）で、お父さんから1文

字ずつもらって、長男が十郎、次男が二郎だといわれ、兄弟2人を足してお父さん1人というのはどうかと思いましたが、先日、久々に同窓会で会うと、お父さん以上に素晴らしいご兄弟になっていて、安心したところです。

会員の名前ではないのですが、今日は3月8日「世界女性デー」です。若いときの同僚でイケダマリちゃんという可愛い子がいましたが、彼女が結婚してミズタマリ（水溜り）になりました。当時はハラスメントなんてありませんから「ミズタマリちゃん」と、さらに人気者になっていました。

一方で同じく同級生のアンドウマリさんから、結婚の案内が届き、ご主人の苗字を見ると肥田とあり、コエダ\*\*か、どうやって呼ぼうかと思っていると、肥田はコエダではなくヒダと読み、ヒダマリ（陽だまり）というきれいな名前になったということです。

くだらない話のついでに、私は小さいころ、どこかから拾われて来た子だと思って、毎日泣いていました。というのも、私の家の男子には代々ずっと「太」という字が頭についています。祖父の太蔵の兄弟は、太兵衛、太三郎ですし、父は太一、兄弟は太二郎、太三雄です。私の兄も太郎です。なぜ僕だけ章二なんだと。アルバムも兄のは分厚いのに、僕のは薄くて少ししかありません。幼稚園のとき、勇気を出して父になぜだと聞くと、「すまん、一生懸命考えたけど、もう太が品切れになってしまった。それで章二にしたんだ。その証拠に、お前の後に生まれた親戚の男の子は、建太、英太と下に太がついているじゃないか」と言われ、信じられないなと思ったまま、今に至っています。

今はDNA判定ができますが、怖くてできていませんが、齢を重ねるごとに、何となく私が一番父に似てきましたし、私の息子はおじいちゃんと瓜二つになってきて、入交の家の子なんだと感じている今日このごろです。

本日のゲストスピーカーである能楽師の茂山さんのお宅にも、名跡の承継等々あるのかもしれない。

本日も皆さんとともに Let's enjoy our 高知ロータリー

### ■本日のプログラム [ 3月15日 ]

シニア会員スピーチ

富士紙化学(株) 相談役

藤田 洋子 会員

「私とロータリーとU.S.A.」

会	長	入	交	章	二
副	会	杉	本	芙	美
幹	事	中	澤	清	一
副	幹	佐	竹	新	市
会	報	亥	角	政	春
責	任				
者					

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

● **今週のピアノ曲** 「久石譲 Spring」  
ピアノ演奏：宮地公美子会員

● **お客様**

能楽師・俳優 茂山 逸平氏  
逸高会 山本氏

◆ **委嘱状伝達**

関 裕司会員 (ロータリー財団危機管理委員会委員)

◆ **感謝状贈呈** ◎米山記念奨学会より

佐竹新市会員 (米山功労者メジャードナー特別感謝状)

● **幹事報告**

・地球33番地のイベントはコロナの関係で中止でしたが、3月13日まで昭和小学校、江陽小学校の生徒の絵がイオンに展示されています。

● **理事会報告**

- ・4月4日開催予定の8RC合同夜間例会は中止。4月5日の例会は開催。理事会は4月12日に行う。
- ・高知大丸代表取締役の小島様の入会を承認
- ・IM中止により返金された登録料は、次回の皆さんの請求額と相殺
- ・高村会員の出席免除を承認
- ・上野会員と桑原会員の退会を承認
- ・中林会員の転勤が決まり、後日報告





● ゲストスピーチ

狂言 日本の和らい

能楽師・俳優 茂山 逸平 氏

先ほどの名前のお話ですが、茂山千五郎家で継ぐような名跡は、隠居名の茂山千作と通し名の千五郎しかなくて、男の子が生まれたら「まさ」という読み方の字、真、正などを付けるのが風習でした。ただ、祖父は、男の子が欲しくて欲しくて仕方なかった僕の高祖父が、待望の男の子が12月28日のしめ縄飾りをしているときに生まれた子どもなので、イレギュラーに「七五三（しめ）」と名付けました。その弟は政次、父は眞吾、兄弟は正義。しかし、うちもここで「まさ」が尽きたようで、そこからは長男にしか「まさ」は付いていなくて、今は正邦（現・千五郎）だけで、あとは適当です。正邦の弟は茂山茂、上下どちらから読んでも茂山茂ですし、僕も次男なのに逸平。父は、祖父の名前「七五三（しめ）」が面白かったので、芸名として継いでいます。



最近では、野村萬斎さんなどのおかげで狂言というものが、知られるようになり僕たちは狂言師と名乗っていますが、正確な肩書は、能楽師狂言方といいます。子どもたちには、狂言は日本で一番古いお笑いのお芝居で、大体、金閣寺と同じ年だと説明します。狂言や能より古い日本に伝わるものとしては、もう雅楽ぐらいしか残っていませんので、古いことには間違いがありません。金閣寺を建てたのは三代将軍の足利義満ですが、この義満が能楽の素といわれる観阿弥、世阿弥の親子を非常に重宝して、子どもの世阿弥に和歌やお華などの素養を身に付けさせた上で、能楽というお芝居を大成させたといわれています。

また、足利義満は、能楽を武家式楽として成立させます。式楽というのはオフィシャルエンターテインメント。例えば、お殿様がお客をお招きして正式な宴会などを続けていく、その間に楽しんでいただく娯楽として能楽を式楽としました。そのスタイルが「翁付五番能」です。まず、セレモニー的な翁と呼ばれる、天下泰平、五穀豊穰を寿ぐお芝居の後に、神様、女の人、平家の武将、鬼、男の人が主役である5種類の能を見ていただく。その間に狂言を挟んでいくという、全部で10個ぐらいのお芝居がワンセットになったものが、能楽というお芝居です。

この「翁付五番能」は、今はほぼ見る機会はありません。時間がかかるんです。狂言は短いものは7、8分、長いもので30～40分ですが、能は短くて1時間。「翁付五番能」を楽しむためには8時間ぐらいかかります。そんなものは、もはや娯楽ではなくて苦行でしかないんですね。

能や狂言が動かない、ゆっくりしていて、現代人の流れと相反する時間が、舞台の上で流れているのには理由が

あります。昔は、能や狂言を見るには今のような劇場はもちろん、マイクも照明など演出効果も一切ありません。神社やお寺の境内、もしくは武家屋敷の庭など、屋外に仮設の舞台を作って見ていただくのが当たり前だった時代は、喋る言葉一つもゆっくりと大きな声で、同じ音をずっと出すことが、お客様を楽しませるのに最高の演出だと信じていたんです。そうしないと、お客様は舞台上で何を言っているのかわからなかったわけです。それが今の時代になって、いろんなお芝居ができ、ドラマや映画ができ、劇場には様々な演出効果、音響設備、照明効果が生まれて、皆さんが想像する演劇というものは段々進化していったのですが、能や狂言はある種、いい意味で止まっています。

子どもたちに狂言を見せるとき、大きな声でずっと喋っているけど、びっくりしないでください。舞台の役者さんに突っ込まないでください。この二つのルールだけは守ってくださいねと言います。能や狂言の舞台の背景に松が必ず描かれています。あれは演出上は使いません。本来は舞台背景を一切使わないお芝居ですので、お客様には視覚的な手助けが何もありません。移動したら言葉でどこどこに着いたというだけです。

日本の伝統芸能は、日本人が日本人のためだけに、日本人ならば誰でも知っているような題材を使って作られていますので、少し説明不足なところが特色なのかもしれません。今の時代は、源氏物語や平家物語、伊勢物語などは勉強になっていますが、当時は娯楽として読んでいました。そのパロディのようなものを使って能や狂言の芝居は成立しています。

能は、源氏物語や平家物語などを原点にした悲劇的な話を美しい謡と舞を使って、楽しんでいただく、ミュージカルのようなもの。それに対して狂言は、昔のお坊さんたちが説いていた説話を原点にして、セリフを使ってコメディタッチに楽しんでいただく、コントのようなもの。そして、ミュージカル的なものとコント的なものをサンドイッチにして、8時間楽しむのが能楽というお芝居です。このように、元々は一つだったものが、時代にそぐわないので、バラバラに公演をすることが多くなってきたということです。ですから、今は能が一番と狂言が一番、あるいは能だけ、狂言だけというふうに公演することが多くなってきて、正式な能の見方は少なくなっています。

実は、能や狂言は子どもたちがしている「ごっこ遊び」の延長と考えると分かりやすい見方なのかもしれません。狂言だけだと面白いと思いますが、能と一緒に見ると眠くなります。ですから、寝ても大丈夫だ、娯楽だという気軽な気持ちで、お客様も少し横着になって、少し優しい気持ちになって能や狂言を見ていただくと、伝統芸能も少し身近に感じていただけるかなと思います。

◇ 例 会 変 更 ◇					
高知東RC	3月16日	ロータリー休日(阪)	高知中央RC	3月17日	お花見夜間例会(城)
高知RC	3月22日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	3月22日	休会(旭)
高知南RC	3月24日	花見例会(阪)	高知中央RC	3月24日	休会(城)
高知西RC	3月25日	ロータリー休日(三)	高知北RC	3月28日	花見家族合同夜間例会(三)
高知ロイヤルRC	3月29日	ロータリー休日(旭)	高知南RC	3月31日	植樹例会(阪)
高知中央RC	3月31日	ロータリー休日(城)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

### 😊 ニコニコ箱 【敬称略】

- 川崎 敦子 茂山逸平師のご来訪に感謝申し上げます、ニコニコさせていただきます。
- 竹下 篤範 2月の例会に欠席が続き、お詫びにニコニコします。常勤医師の病欠のため職業奉仕に追われていました。
- 安光 保二 妻の誕生日にキレイなお花が届けられました。皆さまに祝っていただいて感謝感謝です。
- 吉村 貴志 十数年ぶりのニコニコ発表でした。ちゃんとできましたでしょうか。歳を重ねるに従い、滑舌が悪くなってきているので、ゆっくり読みました。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
3月 8日	(-9)92	55	22	6	73%
2月22日	ロータリー休日				

### ● 累計額 [3月8日現在]

ニコニコ箱	654,500円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	111,092円	ポリオ募金	223,300円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

### ■ 次週のプログラム [3月22日]

ロータリー休日

- ◆ 3月29日のプログラム ゲストスピーチ  
 (株)ミキハウス社長室 自転車世界を駆け巡る会社員  
 坂本 達氏  
 「やった！自転車世界一周、ほった！命の恩返し井戸」

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>